

FMU にじいろ通信

第11号 2024年12月発行

師走の候、朝晩の空気の冷たさに、寒さを感じるようになってまいりました。

さて、新型コロナウイルスやインフルエンザの発症数も増加の傾向がみられるようです。感染予防に努めて感染からできるだけ自身を守ることが大切です。

ダイバーシティ推進講習会を開催

令和6年10月15日（火）に全員参加型FD講習会として「令和6年度ダイバーシティ推進講演会」を、飯舘村前村長 菅野 典雄先生と、國學院大學経済学部経済学科教授 水無田 気流先生をお二方を講師としてお迎えし、ハイブリッド方式により開催いたしました。

『気づきの目やこころ』という演題で、菅野先生から、被災した飯舘村の復興に向けた取り組みについてお話しいただきました。菅野先生は、「復興のため・みんなのために」という強い思いを抱きながら、どのように行動されたのかをお話しいただきました。

続いて、水無田先生からは『多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論」』というテーマで、多岐にわたるデータを基にさまざまな背景を持つ人々が互いに尊重し合うことの重要性についてお話しいただきました。

講演後のアンケートでは、「震災時の行政対応などの、我々の立場では経験することのできないような話を聞くことができた」、「様々な統計の裏付けのもと展開される男女平等論まで、多くの新たな知見を得られた」など、意見が多数寄せられ、意識啓発の良い機会となることができました。

全参加者：136名（会場：78名、Zoom：58名）



菅野 典雄先生



水無田 気流先生

FMUキャリアアップセミナーを開催

令和6年11月12日（火）8号館1階S101会議室において、講師に、本学衛生学・予防医学講座准教授各務竹康先生をお迎えし「FMUキャリアアップセミナー」を開催しました。

演題は「いまさら聞けない基礎統計学5 ～グラフによるデータの可視化～」ということで、集約したデータをわかりやすいグラフとして作成するためにはグラフの性質を知ることが肝要であると、時折ジョークを交えながら解説していただきました。

「すごくわかりやすく、学びの多い講義でした」「グラフの特徴と使い方を理解することができた」など、多くのご感想もいただきました。

参加者：55名（会場：6名、Zoom：49名）



また、「今後の研究や発表資料作成の参考にしたい」とのご要望にお応えするため、ダイバーシティ推進室ホームページに「いまさら聞けない基礎統計学」の初回からの資料を掲載いたしました。ご利用ください。



【閲覧の際はコチラの二次元コードから】⇒

FMU保健科学部カフェを開催

完成年度を迎えた保健科学部として、学生の視点から4年間を振り返り、立場・学科・学年を越えてお互いを知り・認め合う機会となるよう「保健科学部カフェ-KOTATSU LIVE-」を開催しました。菅天音さん（理学療法学科）、渡邊空音さん（作業療法学科）、大竹美月さん（診療放射線科学科）、佐久間渚月さん（臨床検査学科）に大学4年間のライフログ紹介を通して、それぞれの経験や思い、学生生活のヒントを語っていただきました。会場参観、サテライトモニターやzoomからのなど視聴方法も幅広く設定し、和やかな雰囲気の中、それぞれの学科のそれぞれの歩みを知っていただく機会となりました。

参加者：46名（会場：16名、サテライト：20名、Zoom：10名）



キャリアサポート交流会を開催します

日にち：令和 7年 1月15日（水）
時 間：16：40～18：00（交流会は立食形式）
会 場：災害医学・医療産業棟 会議室2
対 象：本学各学部学生、大学院生、
研修医、教職員
講 師：病態制御薬理医学講座
助教 鈴木 学先生
ふくしま子ども・女性医療支援センター
特任教授 小川 真里子先生

＊共催：一般社団法人 福島県医師会

【締切り】令和 7年 1月10日（金）

看護学部カフェを開催します

日にち：令和 7年 1月30日（木）
時 間：16：30～17：30
場 所：8号館5階ラウンジ（定員30名）
対象者：看護学部教職員、本学教職員
形 式：茶話会形式



テーマ：子育て・介護と仕事の両立

どうしていますか？

～みなさんのお知恵拝借～



【締切り】令和 7年 1月27日（月）



女性研究者のキャリア形成を考える オンライン座談会カフェを開催します

日 時：令和7年1月24日（金）16：00～17：00
開催方法：オンライン（Zoom）開催（お子様やご家族の様子を見ながらご自宅などでご参加いただけます）
対 象：全教職員、大学院生、学部学生（男性のご参加も可能です）
講 師：健康リスクコミュニケーション学講座 助手 福島 安瑞美先生
内 容：「海外子育て経験を通して考える”つかれない育児”～家事時間の減らし方～」※座談会あり
申 込：Googleフォーム（<https://x.gd/pCcQh>）または
E-mail（gendeqsp@fmu.ac.jp）にてお申込みください。

【締切り】令和 7年 1月22日（水）



伊丹さん（左）と前島室長（右）

10月5日（土）、6日（日）に開催された、福島県立医科大学第10回光翔祭において、本学医学部3年伊丹 美杜さんが、「女性医師部門～医師の多様な働き方とそれを支えるサポート体制はどのようなものか～」という演題でポスター発表しました。本学研究支援制度（学生支援員）の一員として研究サポートにも従事している経験も活かし、「医師の様々な働き方の制度・法律を紹介し、これらを上手に活用すれば仕事・家庭の両立は可能」だというメッセージを発信しました。

10月は 「男女共同参画推進月間」でした

本学では、毎年10月を「男女共同参画推進月間」として、ダイバーシティ（多様性）へのご理解と、職場内での意識の改革を促進するため、推進員でもある各所属長主催による「職場内研修会」を開催していただきました。
みなさまのご理解とご協力に深く感謝いたします。
これからも「ダイバーシティ推進マニュアル」の読み合わせなどを通じて、所属単位でダイバーシティ推進についての意識浸透を図っていただきたいと思います。

◆用語解説◆

『ポジティブ・アクション』

ポジティブ・アクションについて、一義的に定義することは困難ですが、一般的には、社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のことをいいます。

出典：【内閣府男女共同参画局】
HPより一部抜粋

詳しくは☞



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail：gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel：024-547-1657（内線：2807） / HP：<https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

ダイバーシティ推進室長 前島 裕子